

3. 踏切道の改良後の評価について

なかやま ひろしま けん ひろしま し
中山踏切道（広島県広島市）

更新日：令和8年1月末

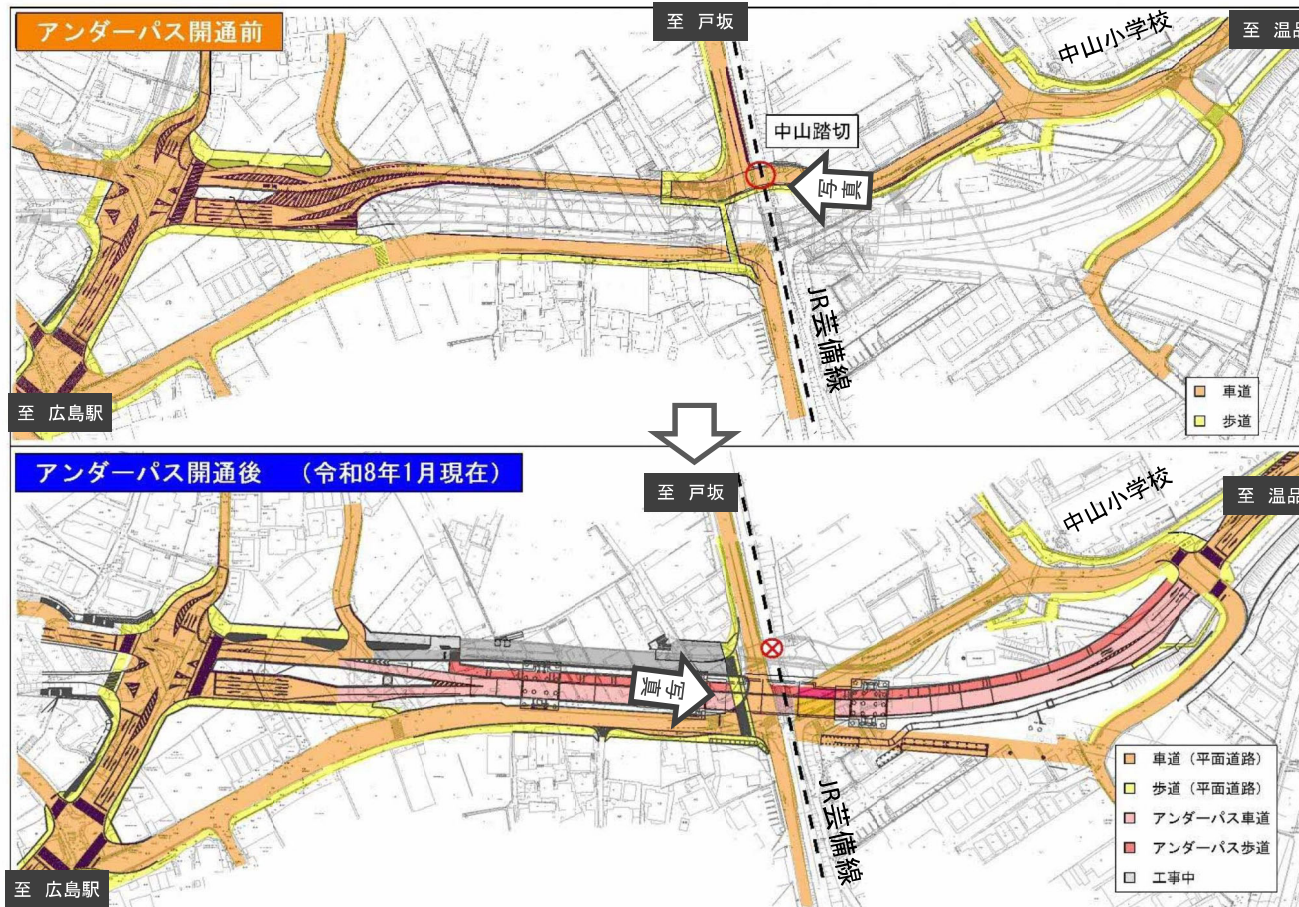
踏切道名：中山踏切道
 鉄道事業者名：西日本旅客鉄道
 鉄道路線名：芸備線（戸坂～矢賀）
 道路名：県道府中祇園線
 道路管理者名：広島市

■対策状況

・令和6年6月6日にJR芸備線中山踏切の立体交差化（アンダーパス）により踏切が除却され、踏切道としての対策は完了した。

■整備効果

・踏切除却により、重大事故の防止が図られた。
 ・交通量が多く信号のない交差点が踏切と隣接しており、複雑な交通形態であったが、構造改良（アンダーパス化）により、車両の安全な通行を確保した。
 ・アンダーパスにおいて、歩道と車道を分離することで、通学路の安全を確保した。



踏切道の評価結果

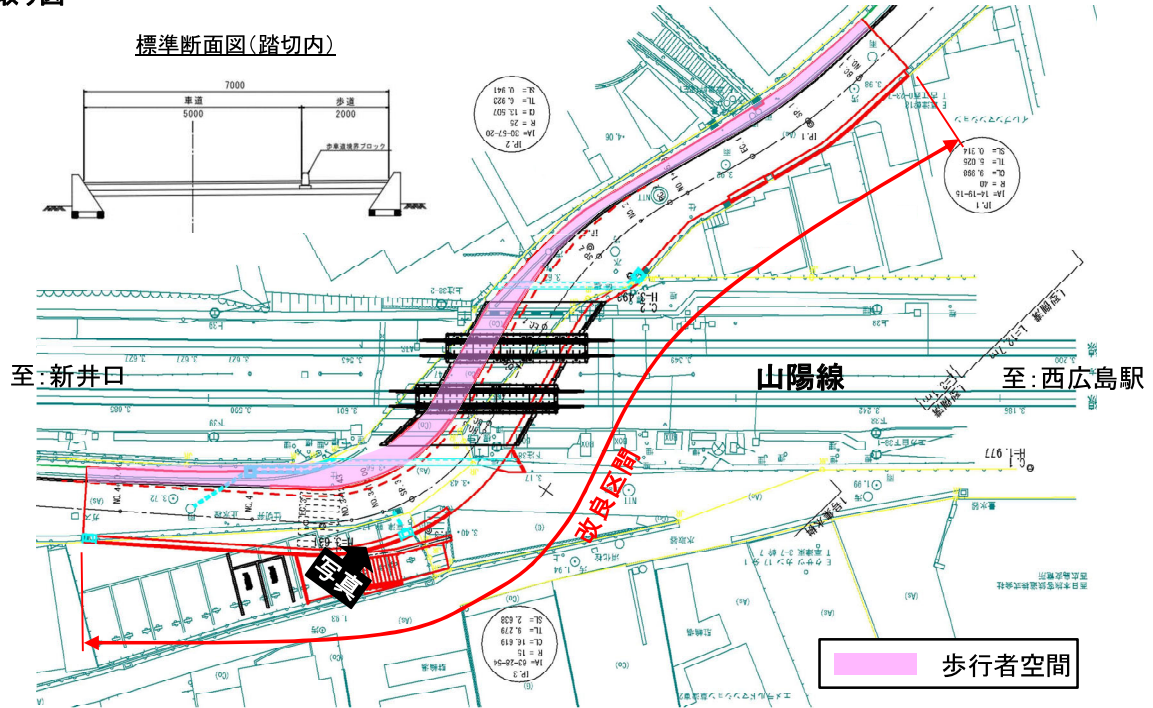
指定年月日	令和3年4月13日	評価年月日	令和7年1月31日	事業主体	広島市				
踏切道諸元	鉄道事業者	西日本旅客鉄道株式会社							
	道路管理者	広島市長							
	踏切道の名称	草津踏切道							
	位置	広島県広島市西区草津東3丁目438-1			(西広島駅～新井口駅間)				
	鉄道の線区名	山陽線							
	道路の路線名	市道西4区47号線			道路種別	市区町村道			
踏切道の改良の方法	改良方法	改良の概要	延長(km)又は設置数(式)	幅員(m)	期間 着手 完了	実施主体	改良の具体的内容		
	特定改良 構造の改良	車道拡幅、歩道設置、交差角度の改善	0.01	4.60	R3 R5	広島市	○踏切道諸元 【既設】 幅員：4.6m (車道部 4.6m) 交差角：47度 【改良】 幅員：7.0m (車道部 5.0m+歩道部 2.0m) 交差角：60度 ○接続道路諸元 ・右道路 【既設】 幅員：5.5m (車道部 4.3m+歩道部 1.2m) 【改良】 幅員：7.2m (車道部 5.8m+歩道部 1.4m) ・左道路 【既設】 幅員：5.2m (車道部 5.2m) 【改良】 幅員：7.3m (車道部 5.0m+歩道部 2.3m)		
	一体改良								
	備考								
評価の結果	特定指定要因基準		改良前		改良後		特定指定要因基準	改良後	
	第一号	踏切自動車交通遮断量(台・時/日)					第八号	改良前 改良後	
	第二号	踏切歩行者等交通遮断量(人・時/日)					第九号		
	第三号	一時間の踏切遮断時間(分/時)					第十号		
	第四号・第五号	幅員(m)	踏切道	全幅	車道	歩道		第十号	第十一号
			左道路			起点寄	終点寄		
		右道路							
		幅員差(m)	(踏切道-左道路)						
		(踏切道-右道路)							
		自動車交通量(台/日)							
		歩行者交通量(人/日)							
		通学路指定の有無							
第六号	踏切遮断機の設置					第十二号	・歩道を設置したことで、児童等の歩行者の安全・円滑な通行を確保することができた。 ・車道を拡幅するとともに交差角度を改善したことで、交通の円滑化を図った。		
第七号	踏切支障報知装置の設置								
当該踏切道の安全かつ円滑な交通の確保に重大な関係を有する事項									
評価の概要 (安全かつ円滑な交通の確保に関する状況の調査及び分析)	改良の効果の発現状況								
	・当該踏切道周辺の町内会や地域見守り隊に聞き取りを行った結果、踏切の拡幅及び歩道設置したことにより、歩車分離が図られ、歩行者・自動車等の安全・円滑な通行が確保されていることを確認した。(聞き取り調査は広島市通学路等交通安全プログラムに基づき関係小学校が実施)								
	地方踏切協議会の意見								
	・地方踏切協議会において、改良の効果の発現が確認されている。								
	改善措置の必要性								
・改良の効果は発現されており、改善措置を行う必要性はない。									
特記事項									
-									

位置図・見取り図・写真

▼位置図



▼見取り図



▼写真

(対策前)



(対策後)

